

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

コミュニティ・スクールが始まる

県内各地の自治体で導入されているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が、本市でも4月から始まりました。これは少子高齢化や地域のつながりの減少などを背景に、子どもや学校が抱える課題が複雑化・困難化する状況があります。学校だけの力では解決できない課題に、学校・家庭・地域が一体となり「社会総掛かり」で対応していくことが求められています。

コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民が協働して子どもたちを育てる仕組みのことです。さまざまな視点を学校運営に反映させるための「学校運営協議会」を設置した学校のことをコミュニティ・スクールと呼びます。本市では、小中一貫教育・学びの庭構想のもと、岳洋学舎で一つの学校運営協議会を設置しました。

学校運営協議会はどんなことをするの？

保護者や地域住民の代表に運営委員になっていただき、学校の代表と話し合いながら、学校のよりよい教育を進めるためにご尽力いただきます。従来の学校評議員や学舎運営協議会委員と異なり、責任ある立場で学校経営に「参画」するための新しい組織です。



主な役割は

- 校長が作成した学舎の基本方針を承認すること
- 教育委員会や校長に学舎運営に関する意見申し出ができること
- 教職員の任用に関して教育委員会に意見を申し出ること
- 学校支援に関して関係者の理解を深め、支援に関する協議結果を保護者らに情報提供することなど

運営委員として各校の校長から推薦された13人が、教育長から委嘱状を渡されました。

学校運営協議会委員の紹介 <◎会長○副会長は互選で選任、()は推薦校と地区名>

◎江川正徳(岳洋中 高橋)、松下知生(岳洋中 高橋)、黒田晃(小笠東小 赤土)
 渡邊朗由(猿渡 小笠東小)、塚本隆男(小笠北小 下平川)、桐岡 薫(小笠北小 嶺田)
 佐塚隆雄(小笠南小 高橋)、赤堀恵子(小笠南小 高橋)、○山崎公男(岳洋中校長)
 赤堀信二(小笠東小校長)、増田三保子(小笠北小校長)、杉山豊和(小笠南小校長)
 石川妙子(小笠北幼稚園長)

第1回学校運営協議会を開催

5/14 (火) 岳洋中



学舎代表の山崎校長が経営構想を提案



集中して学ぶ岳洋中学生と授業参観のようす

学舎の基本方針提案 (学舎代表校長から)

学舎の目指す子ども像
と課題を全員で共有！

目指す子ども像 「自信をもち自分の力を発揮する子」
取組の中核 「学力向上」 キーワードは主体性・自己有用感



よりよい教育をとおして未来のつくり手となるために
必要な力を育てるためにどんなことができるだろうか

【意見交換】

- ◇学力向上や不登校への対応には、家庭や地域住民の理解と協力が大切である。
- ◇花壇づくりは子どもの心のケアに効果があると思うが、多忙な学校では厳しい現状。
- ◇家族の会話を増やして、子ども理解と心の安定を図るように家庭に働き掛けていく。
- ◇保護者アンケートをとって、保護者のニーズに沿ったテーマを議題にしていく。
- ◇地域の人々の協力のもと探究学習に力を入れ学力を高めていく計画である。
- ◇学力向上には家庭の力が不可欠。親子読書や先取挨拶、新聞投稿による発信力・自己有用感を高めるように呼び掛けていく。
- ◇学校の活動と努力をもっとPR (広報) するために子どもの力を取り入れていく。
- ◇教職員の負担減 (働き方改革) は大きな課題。協議会のテーマの一つにしたい。



新たな制度の導入のもと試行錯誤しながら第一歩を踏み出しました。学校運営協議会は、年間3回 (5/14, 9/12, 1/21) を予定しています。これから新しい仕組みを生かして、「地域の子どもは地域で育てる」というやりがいと喜びを味わえる取組を導き出していくことを期待しています。地域の皆様のご協力、今後ともよろしく申し上げます。

学校運営協議会事務局 (菊川市立岳洋中学校事務室内)
TEL 73-2400(代)
学舎ディレクター 大石